

令和4年度 北秋田市総合戦略検証会議検証シート
(地方創生関係交付金事業)

1. 地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業
2. 北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業
3. 「秋田内陸線阿仁合駅」観光拠点施設整備事業
4. 森吉山ウェルカムステーション整備事業

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	地域連携DMO秋田犬ツーリズムによる観光振興事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
交付金種別	地方創生推進交付金	
事業目的(一覧表F列)	平成29年11月に日本版DMO法人として登録された『一般社団法人秋田犬ツーリズム』を中心とし、市町村の枠を超えた連携を通じて稼げる観光地域づくりを進めている。プロモーションの中心に秋田犬を据えた取り組みを進めた結果、外国人旅行者が増加傾向にあることから、当地域の目的地としてのポテンシャルは高く、今後も外国人旅行者の増加による経済効果が十分に見込めることから、従来のターゲットである台湾へのアプローチは続けつつ、「秋田犬」という強力なキラーコンテンツを活用して世界中の動物好きへのアプローチを積極的に進め、来訪者、とりわけインバウンドの増加につなげる。また、体験・ストーリーを重視する欧米からの富裕層の個人旅行者、アジアの先進地域からの富裕層を明確にターゲットに加えるとともに縄文犬としての秋田犬、マタギという狩猟文化やそれにまつわる食文化を前面にだした芸能・体験・食を提供し当地への来訪を目指す。	

事業費	総事業費(入力シートD列) 32,745,644円	交付金実績額(入力シートE列) 15,144,726円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	旅行消費額(百万円)
②	訪日外国人宿泊者数(千人)
③	延べ宿泊者数(千人)
④	観光振興事業が地域に与える経済的効果(百万円)

KPI	目標値 実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		36,625		40,236		48,558		54,548		60,174
		24,592		27,318		30,707		19,323		18,815
②		11		15		21		26		31
		9		10		11		2		1
③		352		385		393		399		405
		375		379		392		273		296
④		0		0		480		879		1,332
		—		—		4,125		1,931		1,931

事業の概要(一覧表BS列)

来訪者拡大に向けてRESASやSNSワードクラウドを活用して著名な観光地の誘客ターゲットや外国人旅行者の地方への周遊動向などについて、他地域との競合分析やマーケティング、情報発信を進めながら、当エリアを北海道・東北周遊ルートのひとつにしっかりと位置付けるために、体験やストーリーを重視した新商品・サービスの投入、受け入れ体制整備により、来訪者の満足度向上と滞在時間を延ばす取り組みを進める。古民家や農家民宿、歴史的建造物などでの旅行者受け入れ体制の整備を行う。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 12	有効性評価 13	効率性評価 10
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 4
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 4	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適切か 3

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
35	改善して継続	コロナ禍で外国人の入国が規制されている中、ターゲット国である「シンガポール・香港」に向けたオンライン配信によるPRを実施したほか、近隣のDMOと連携してのツアー造成やお土産品開発等を実施。また、移動制限解除後を見据えたガイド教育や事業者向けの研修会を開催。ECサイトではコロナ禍で観光需要が低迷する中、事業者の新たな販路拡大に大きく貢献した。今後は、引き続きプロモーションの実施及び魅力あるコンテンツの開発を行うほか、DMO職員が商品開発や旅行会社と取引ができるランドオペレーター資格を取得し、体制の強化を図ることとしている。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 12	有効性評価 13	効率性評価 10
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 4
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 4	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適切か 3

総合評価
35 /45

検証会議による評価
B

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	通
、く	り	ね	ど	地	討	切
最大そ	で	い	ら	が	・	、く
適委の	あ	効	あ	効	あ	非
で効と	る	果	ら	が	効	効
果あ	る	的	あ	効	効	率
る	お	お	い	す	・	は
	通	い	え	す	な	な

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	北秋田打当温泉マタギの湯どぶろく工房整備事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
交付金 種別	地方創生拠点整備交付金	
事業目的 (一覧表F列)	伝統的狩猟文化を有する「マタギの里」におけるマタギ体験・どぶろく提供等、特徴ある観光プランの提供や拠点整備を促進することにより、通過型観光から滞在型観光へと転換を図り、インバウンドを含めた観光誘客の増加を推進する。拠点整備が図られた場合、観光誘客の増加も推進され、それに伴い観光拠点施設における新規雇用の促進にも繋がる。これらのことによる地域経済の安定と向上、地域に活力を与えることを目的とする。	

事業費	総事業費(入力シートD列) 50,058,000円	交付金実績額(入力シートE列) 23,914,715円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	本施設濁酒販売量(ℓ)
②	土産物・酒販店での販売(ℓ)
③	施設利用者数(日帰り入浴客数、マタギ資料館利用者数、宿泊者数(人))
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		400		600		800		1,000		1,200
		564		1,077		1,016		727		294
②		80		180		280		380		480
		101		415		432		352		81
③		32,000		32,475		32,950		33,425		33,900
		27,326		26,235		26,474		15,109		17,800
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
<p>本地域の特徴である「マタギ集落」文化を活かした特徴ある滞在型観光への転換を図り観光消費額の向上、周辺観光エリアへの観光誘客の促進を目指すため、醸造施設を新たに整備し、濁酒生産の強化と首都圏アンテナショップ等へ濁酒販売を行うとともに、来訪者への濁酒生産の見学体験・試飲の場ならびに醸造技術の研究・向上、商品開発の場を整備し、特徴ある滞在型観光への転換を促進する。</p>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 13	有効性評価 13	効率性評価 11
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 3
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 4
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適当か 4

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
37	現行のまま継続	<p>コロナ禍で旅行形態が県内や隣県を対象とするマイクロツーリズムが主流となり、珍しい特徴的な土産品としての販売には苦戦し、結果として販売量と製造量が落ち込んだ。その一方で「EOサイト」や「ふるさと納税」に販路を広げ目標の達成に向け取り組んだ。今年度開催した「全国どぶろく研究大会in北秋田」では、出品した「マタギの夢」が優秀賞を受賞するなど、日々技術向上に取り組んでいるほか、工房等見学のモニターツアーで得られた参加者の意見を踏まえ、満足度向上のための磨き上げを行い、旅行需要の取り込みを進めることとしている。</p>

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 13	有効性評価 13	効率性評価 9
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 2
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適当か 4

総合評価
35 /45

➔

検証会議による評価
B

【検証会議 評価基準】

A かなりの効果がある
 B 相当程度の効果がある
 C あまり効果が見られない
 D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考：評価基準】

5	4	3	2	1
的り全 、く 最大そ 適案の で効と 効果お る	切り概 で、ね あ効そ る果の 的と 、お 適	など い ら と も い え	余検 地討 が・ あ改 る善 す る	通い全 切、く で非そ あ効う る率で は 不な

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	「秋田内陸線阿仁合駅」観光拠点施設整備事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標4 新たな地域社会の形成 4-⑤ 公共交通の維持・確保	総務部内陸線再生支援室
交付金 種別	地方創生拠点整備交付金	
事業目的 (一覧表F列)	少子高齢化に伴う人口減少により、地域の活力が減少することが懸念されている。一方、秋田内陸線を利用する外国人団体客は年々増加傾向にあり、内陸線は秋田県を代表するインバウンド観光コンテンツの一つになっている。このため、阿仁合駅を観光拠点とすることで、北秋田市への外国人観光客の誘客を促進し、森吉山を中心とした観光産業の振興を図り、新たな雇用の創出や、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を創出する。	

事業費	総事業費(入力シートD列) 127,057,510円	交付金実績額(入力シートE列) 58,207,000円
------------	--------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	秋田内陸線の阿仁合駅定期外乗降者数(人)
②	秋田内陸線の訪日外国人団体数(人)
③	秋田内陸線の阿仁合駅こぐま亭年間売上額(千円)
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H29	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3
①		37,900		39,900		41,900		43,900		45,900
		39,582		37,353		39,012		17,114		12,216
②		10,300		12,000		13,700		15,400		17,200
		25,232		28,592		33,344		0		0
③		8,000		10,000		12,000		14,000		16,000
		8,150		17,654		13,403		8,474		7,998
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)

阿仁合駅の改築及びレイアウト変更を行い、待合室(休憩所)とレストスペースを拡大する。また、秋田内陸線と森吉山周辺、さらには阿仁合の街歩きに関する観光情報を提供できるような観光案内所を整備する。また、外国人観光客のさらなる誘客につなげるために、和式トイレの洋式・バリアフリー化を行うことで、観光客の利便性満足度向上を目指す。駅舎内にある鉱山文化の代表的な食を現代風に発信しているレストラン「こぐま亭」のスペース拡大によって、外国人をはじめとする観光客の利便性向上や街歩き用の携行メニューを開発し、阿仁合地域のさらなる魅力向上を目指す。

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 14	有効性評価 14	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適当か 5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
43	<div style="background-color: yellow; padding: 5px;"> 現行のまま継続 </div>	平成30年4月にリニューアルオープン後も、訪日外国人団体数及びカフェを新設した「こぐま亭」の売上額は、右肩上がりに延びていた。今後、更なる誘客の促進のため、北秋田市の観光の核である森吉山をPRするため、改修した阿仁合駅舎2階を観光拠点として強化を図っていく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 14	有効性評価 14	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適当か 5

総合評価
43 /45

検証会議による評価
A

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考：評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全、く、最大適、で、効果ある	切、り、で、あ、る	概、ね、そ、の、的、お、る	な、ど、い、ち、ら、の、と、も、お、い、え	余、地、が、あ、る	検、討、改、善、す、る	適、切、で、あ、る、は、な

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	森吉山ウェルカムステーション整備事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	総務部内陸線再生支援室
交付金種別	地方創生拠点整備交付金	
事業目的(一覧表F列)	<p>○ 現在の県立公園から国定公園への昇格に関わる活動が地元北秋田市において具体化してきている現状も踏まえ、山を目的として来訪したお客様はもちろんのこと、以外の目的で訪ねてきたお客様、さらには北秋田市をはじめとする沿線地域のすべての住民に、森吉山の魅力や価値をワンストップで感じ取ってもらえる「森吉山エリアの四季」をテーマとした「情報発信型のスペース」を秋田内陸線阿仁合駅舎内2階に整備し、森吉山一帯の観光関連情報や来訪者が必要とする情報を発信することで、沿線の観光価値を高めるとともに地域の魅力向上を目指し、観光客増と地域の観光関連事業者の収入増を図ることを目的とする。</p>	

事業費	総事業費(入力シートD列) 90,322,180円	交付金実績額(入力シートE列) 42,590,000円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	観光コンテンツの発信拡大に伴う株式会社WEBサイトアクセス数(PV)
②	整備施設(阿仁合駅舎2階)訪問者数(人/日)
③	整備施設(阿仁合駅舎2階)チャレンジショップ活用事業者数(人/団体)
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3	年度	R4
①		756,754		779,554		803,038		827,227		852,141
		770,810		866,782		823,052		838,799		—
②		0		62		67		73		79
		0		68		51		43		—
③		0		12		14		14		14
		0		6		6		6		—
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)
<p>○ 森吉山の観光関連事業者が提供する様々なコンテンツを情報提供する。 ○ 内容は各個別事業者の取り扱いコンテンツの体験(購入)意欲の喚起に結びつくものとし、整備施設来訪者への提供のみならず会社の既存WEBサイト上での誘客コンテンツとしても活用する(多言語対応:英・台・韓・タイ)。 ○ 森吉山関連の中小零細事業者や地域活動団体等が訪問客に対し体験メニュー案内や特産品販売などを行う「チャレンジショップ」機能を設ける。 ○ 整備施設では、高齢者等インターネット環境にない方に対しても、ジオラマやパネルなどのアナログ的な方法で情報を提供する。</p>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価 14	有効性評価 14	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適当か 5

総合評価	今後の方向性	事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)
43	現行のまま継続	阿仁合駅舎2階を改修し、エレベーター・冷暖房設備・LED照明の新設、階段の移設、床の防音対策と強度の増強、内壁の断熱機能の付加をするとともに、デジタルサイネージやジオラマ等を整備することで、地域の魅力発信スペースを新設。これにより沿線の観光価値を高め、活性化を図る。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

妥当性評価 14	有効性評価 15	効率性評価 15
市が関与すべき事業か 5	事業は効果的か 5	他に効率的な手法はないか 5
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 5	コスト削減の余地はないか 5
目的・対象は妥当か 5	政策目標の実現に貢献しているか 5	受益者負担は適当か 5

総合評価
44 /45

検証会議による評価
A

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	適
、く	り	ね	い	地	討	切
最大そ	あ	効	そ	ら	が	で
適委の	る	果	の	と	あ	あ
で効と	的	的	と	も	い	効
あ果お	お	お	い	す	す	率
る	適	え	る	る	る	は
						な